

三阪 佳弘

高等司法研究科・教授

【研究】

1) 明治初期の非弁護士の実践的な活動について民事判決原本DB等を通じて分析し、地域社会における法的サービスの需要の担い手の具体像を明らかにする研究の一環として、「＜資料＞明治前期民事判決原本における代人の活動事例——京滋阪地域の事例」*阪大法学*71-5を公表した。

同テーマに関わって、江戸から明治にかけての歴史的概念としての弁護士像を通史的に分析した研究に対して、「＜書評＞フラハーター著＝浅古弘監訳『近代法の形成と実践』*法制史研究*70を公表した。

2) 基盤研究C「戦間・戦後改革期の裁判官制度の比較法史研究——キャリアシステムと職権の独立」(2018-21年度)の研究を順調に進めている。

これに関連して、明治期の司法省と裁判官制度を分析した研究に対して「＜書評＞大庭裕介『司法省と近代国家の形成』*日本歴史*879を公表した。

【教育】

全学共通教育科目「大阪大学の歴史:適塾入門」(オムニバス科目)、「知性への誘い」(オムニバス科目、適塾記念センター長として担当)、高等司法研究科「比較法史」、「法理論」(オムニバス科目・責任教員)、法学部「日本近代法史」、「演習1」＝「演習2」＝「法政基礎セミナー」、法学研究科「日本法史」＝「日本法史特殊講義」、「比較法史」を担当した。

【管理運営】

1) 適塾記念センター長＝兼任教員として、同センターの管理運営、『緒方洪庵全集』編集刊行、大阪大学史研究と「建学の精神」顕彰活動に貢献した。

2) 大阪大学アーカイブズ兼任教員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。

3) 高等司法研究科の教務委員会委員、評価委員として所管業務に貢献した。

4) 大阪大学法学会運営委員長として法学会活動に貢献した。

【社会貢献】

1) 適塾記念会幹事として、重要文化財適塾の保存活動と、研究活動に貢献した。

2) 大阪府労働委員会公益委員として、不当労働行為事件審査、あっせん等を通じて、労使間の紛争解決とその適正な関係構築への貢献を行った。

3) 日本学術会議連携会員としての社会貢献を行った。